



Mother Pirika

マザーピリカ

発行：マザーピリカ（美利河ダム水源地域ビジョン推進会議）
協力：北海道開発局函館開発建設部 美利河ダム管理支所

だれでもできる植樹と山菜を味わう会

とき：5月26日土曜日

ところ：美利河ダム、ダム湖周辺

このニュースレターでは、マザーピリカ（美利河ダム水源地域ビジョン推進会議）の活動をみなさんにお伝えしています。

マザーピリカの主催で「だれでもできる植樹と山菜を味わう会」が開催されました。当日はあいにくの天候不良でスケジュールの変更もありましたが、予定していた紙製のポットを使用しての植樹、サクラマスの稚魚放流、山菜採りは無事行われました。



尾谷さんに教えてもらいながら紙製のポットを作ります。



作成したポットに土と苗を入れます。



完成～♪

植樹

カミネッコンと呼ばれる紙製のポットを使って、魚道のそばに植樹を行いました。



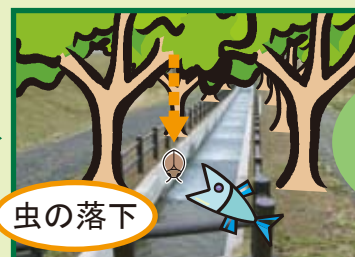
植樹の方法は、最初に土を盛り、その上に紙製のポットをおいて、最後に木チップをかけて終了。とても簡単にできます♪



講師の尾谷さん

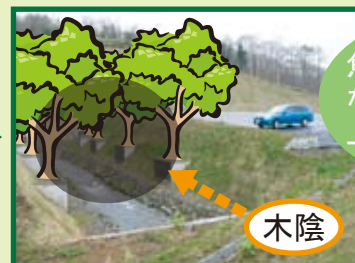
なぜ植樹なの？

美利河ダムの魚道近くに広葉樹を植樹して森を造ります。樹木があれば木陰ができ、水温の上昇を抑え、さらに昆虫が樹木に集まり、魚の餌になることがあります。また、広葉樹の落ち葉は、土壌生物に分解され、栄養素になり、川に流れ、海の植物プランクトンや海藻類などを支えます。植樹をすることで、森と海、それをつなぐ川の大切な働きを学んでいくことを目的としています。



虫の落下

虫が魚道に落下して魚の餌になります。



木陰

魚道が木の陰になって、水温の上昇を抑えます。

稚魚放流

社団法人 北海道栽培漁業振興公社の協力で、魚道にサクラマスの子魚を放流しました。放流の前に、サクラマスの生態と、魚と森との関わり等についてのお話しも聞きました。



白いタグ

今回の放流はサクラマスの移動調査も兼ねていて、サクラマスの背ビレには調査用の白いタグがついています。



なるほど～。

講師の社団法人
北海道栽培漁業
振興公社のみな
さん



元気に
かえってきてね。

山菜採り

講師の青山さん宅の周りで山菜採りを行いました。この山菜も川の恵みの一つと言えます。



山菜はどこだ～。



講師の青山さん

収穫の一部です。このあとテンプラにして食べました♪

第5回推進会議 開きました。

とき：5月25日金曜日

ところ：町民センター

昨年度実施されたマザーピリカのイベントを振り返りながら、今年実施するイベントなどについて意見交換していきましました。

『推進会議』はイベントの企画などについてみんなで相談する会合です。



マザーピリカのロゴマークの入ったスタッフジャンパーが完成しました！

今 後 の 活 動

実施時期	実施場所	イベント内容
平成19年春より カヌー製作	今金町内	木製カヌーを自分たちで製作し、川下りに使用します。
6月22日～24日 RAC ^(※) 講習会	ピリカ湖、後志利別川等	川で楽しく安全に活動するための講習会を行います。
7月15日 ピリカ夏祭り	美利河ダム周辺	ピリカ遺跡を舞台に石器づくりや火おこし体験を行います。また、“ピリカ宝探し大冒険”というイベントも考えています。
8月下旬 カヌーによる川下り	後志利別川	海を目指して川下りを行います。
10月14日 秋のヘルシーウォーキング	奥美利河地区	奥美利河にて自然体験を行います。
1月(予定) 冬の自然体験	総合公園(予定)	冬ならではの自然体験を行います。

(※) RAC：川に学ぶ体験活動協議会

Mother Pirika(マザーピリカ)は美利河ダムや後志利別川流域の資源を活かしながら今金町や周辺地域の活性化のために活動している住民組織です。

●お問い合わせ：マザーピリカ代表 永井 章まで。 TEL: 0137-82-0032